

No. 512
2014年
3月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055
<http://www.orsj.or.jp/>

● 第32回学生論文賞論文募集

OR学会の発展は、将来の優秀なOR研究者およびOR実務担当者の養成いかにかかっています。その一助として、ORに対する学生の関心を高め、かつ大学におけるOR関係学科間での情報交流にも役立てるため、学生会員の卒業論文、修士論文の中から、毎年優秀なものを選び、「日本OR学会学生論文賞」として昭和58年度より表彰しております。

対象は、学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。指導教員、学生がともに本学会員であることが必要です。

卒業論文・修士論文の指導にあたっておられる教員の方々には、積極的にご推薦くださいますよう、お願いいたします。

(表彰委員会)

応募方法：

(1) 学会員である指導教員の推薦状1部を、指導教員から送付してください。

* 推薦状は、学会WEB <http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>よりダウンロードしてください。

(2) 卒業論文あるいは修士論文の論文、および論文要約のファイルを、学生から提出してください。

* PDFファイルの名称は、それぞれ次のように執筆者の名前入り、英文字としてください。

- ・論文…Thesis_Yamada_Taro.pdf
- ・論文要約(A4判2枚)…Abstract_Yamada_Taro.pdf

応募学生の資格：2014年3月に学部を卒業、あるいは修士課程を修了する会員で、引き続き学生会員あるいは正会員である者。

応募締切：2014年3月31日

送付先：学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp
(表彰委員会宛)

表彰：受賞者には、OR学会研究発表会その他適当な機会に表彰し、受賞論文の要約をOR誌に掲載します。

● 2014年春季シンポジウム (第71回)

日程：2014年3月5日(水) 13:30~17:15

場所：大阪大学豊中キャンパス大阪大学会館講堂
(〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1)

テーマ：「ICTとOR—広がる学際領域—」

実行委員長：滝根哲哉 (大阪大学)

プログラム：

13:30~13:35 開会挨拶

13:35~14:25 「これからのマルコフ決定過程」

恐神貴行氏 (日本アイ・ビー・エム(株)東京基礎研究所)

ORから生まれたマルコフ決定過程(MDP)は人工知能の分野でも急速な発展が進んでいる。本講演では、部分観測MDPや逆強化学習などの周辺技術を含めて、今後のMDPの研究の方向やICTへの応用について議論する。

14:25~15:15 「対象構造とモデリング基準を捉えた高効率高精度データマイニング」

鷲尾 隆氏 (大阪大学産業科学研究所)

グラフマイニングや最近の構造正則化モデリングの例を通じて、対象構造とモデリング基準の数学的性質を踏まえることで、計算複雑性が高くても大規模問題を扱い可能な高効率高精度データ解析手法を実現可能であることを論じる。

15:15~15:30 休憩

15:30~16:20 「学際的ネットワーク科学による新分野開拓」

斎藤 洋氏 (日本電信電話(株)ネットワーク基盤技術研究所)

ネットワーク産業を取り巻く環境が変化し、ネットワーク系の研究に成熟感、閉塞感が生じている。中長期的に、全く新しい研究分野を開拓するために、学際的ネットワーク科学アプローチによりネットワークとは何かを問う試みを始めた。こうした背景と、これまでとは異なる視点で行っている研究事例について紹介する。

16:20~17:10 「劣通信環境下における情報流通技術とそれを支える数理」

巳波弘佳氏（関西学院大学理工学部）

大規模災害時における情報流通や、大量のセンサによる自然環境情報収集など、近年特に必要性が高まっている劣通信環境下における情報通信技術と、それを支えるさまざまな数理的アプローチについて紹介する。

17:10~17:15 閉会挨拶

参加費：

正・賛助会員：当日4,000円

学生会員：当日2,000円

非会員：当日5,000円

非会員の学生：当日2,000円

*非会員の学生の方は、当日受付にて学生証提示が必要となります。

協賛学会：

- ・公益社団法人 日本経営工学会（JIMA）
- ・社団法人 日本品質管理学会（JSQC）
- ・日本信頼性学会（REAJ）
- ・研究・技術計画学会（JSSPRM）
- ・一般社団法人 日本設備管理学会（SOPE-J）
- ・一般社団法人 経営情報学会（JASMIN）
- ・一般社団法人 プロジェクトマネジメント学会（PM）

問合せ先：春季研究発表会実行委員会

E-mail: nc2014s@orsj.or.jp

参加費関連問合せ先：OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

シンポジウムHP：http://www.orsj.or.jp/~nc2014s/?page_id=116

● 2014年春季研究発表会

日程：2014年3月6日（木）、7日（金）

場所：大阪大学豊中キャンパス

全学教育推進機構A棟・B棟

（〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1）

テーマ：「新時代のビジネスとOR」

実行委員長：森田 浩（大阪大学）

特別講演：（大阪大学会館講堂）

- ・松井知己氏（東京工業大学大学院社会理工学研究科教授）
「この先は工事中です2—安定結婚問題における戦略的可能性について—」
- ・大竹文雄氏（大阪大学理事・副学長）
「世代の経済学」

オーガナイズドセッション

「Big Dataでイノベーションを起こす」

- ・オーガナイザ：河本 薫氏（大阪ガス（株）ビジネスアナリシスセンター所長）
- ・新村 猛氏（がんこフードサービス（株）取締役副社長、（独）産業技術総合研究所サービス工学研究センター研究顧問）
「外食産業におけるビッグデータの活用事例」
- ・広瀬穰治氏（（株）伊藤久右衛門事業統括本部本部長）
「ビッグデータで行う組織改革」
- ・奥野恭史氏（京都大学大学院薬学研究科教授）
「スパコン京と医療ビッグデータによる創薬イノベーション」

チュートリアル講演

- ・「評価のOR」研究部会企画
Jamal Ouenniche（Univesiry of Edinburgh）
「Performance Evaluation of Forecasting Model—At Last, Problem Solved!」
- ・「数理計画法（RAMP）」研究部会企画
藤江哲也氏（兵庫県立大学）
「はじめよう整数計画法」

参加費：

正・賛助会員：当日7,000円

学生会員：当日2,000円

非会員：当日10,000円

非会員の学生：当日2,000円

*非会員の学生の方は、当日受付にて学生証提示が必要となります。

登壇料：非会員（学生を含む）の方が発表する場合、参加費と別途2,000円を当日受付にてお支払ください。

懇親会：2014年3月6日（木）

会場：ホテル阪急エキスポパーク

参加費：当日6,000円

企業展示（50音順）：A103教室

（株）ITSC、MSI（株）、（株）NTTデータ数理システム、（株）オクトーバー・スカイ、（株）構造計画研究所、シュプリンガー・ジャパン（株）

賛助会員の方へ：

1口につき1名様が研究発表会に無料でご参加できます。賛助会員受付にて名刺をご提示ください。（事前の参加連絡は不要です。）ご参加者様については、社内で調整をお願いいたします。ご欠席の場合は研究発表会アブストラクト集をお送りしております。

協賛学会：

- ・公益社団法人 日本経営工学会 (JIMA)
- ・社団法人 日本品質管理学会 (JSQC)
- ・日本信頼性学会 (REAJ)
- ・研究・技術計画学会 (JSSPRM)
- ・一般社団法人 日本設備管理学会 (SOPE-J)
- ・一般社団法人 経営情報学会 (JASMIN)
- ・一般社団法人 プロジェクトマネジメント学会 (PM)

問合せ先：春季研究発表会実行委員会

E-mail: nc2014s@orsj.or.jp

参加費関連問合せ先：OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

研究発表会HP：<http://www.orsj.or.jp/2014spring/>

● **2014年春季企業事例交流会 (第33回)**

日 程：2014年3月6日(木) 午後

場 所：大阪大学豊中キャンパス
 全学教育推進機構A棟・B棟
 (〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1)

趣 旨：OR学会企業事例交流会とは、企業において活躍されている方にOR実施例(問題の発生からさまざまな苦勞を経て解決に至る苦勞話など)を新規研究の発表という形式ではなく、ORの適用事例という形式で発表していただき、学識者の方、他企業の方と意見交換をしていただく場です。

講演者：

- ・羽森 寛氏 (オー・エイチ・ティー(株))
 「基盤の電気検査における最適化適用事例」
- ・富山伸司氏 (JFEスチール(株))スチール研究所
 計測制御研究部
 「製鉄所における出荷作業スケジューリング技術の開発」
- ・牛尾 剛氏 (関西電力(株))電力流通事業本部系統
 制御グループ
 「水力発電の高効率運用に向けた発電機運用計画の最適化」
- ・多田明功氏 ((株)NTTデータ数理システム)
 「コールセンターにおけるシフトスケジューリング」

参加方法：研究発表会のセッションとして行いますので、研究発表会参加の手続きをしてください。

問合せ先：企業事例交流会担当 齊藤 努 ((株)構造計画研究所) E-mail: tsutomu@kke.co.jp

研究発表会HP：<http://www.orsj.or.jp/2014spring/>

● **2014年秋季シンポジウム (第72回)**

日 程：2014年8月27日(水) 13:00～

場 所：北海道工業大学
 (2014年4月より、北海道科学大学に名称変更)

実行委員長：加地太一 (小樽商科大学)

● **2014年秋季研究発表会**

日 程：2014年8月28日(木)、29日(金)

場 所：北海道工業大学
 (2014年4月より、北海道科学大学に名称変更)

実行委員長：大堀隆文 (北海道工業大学)

● **新宿OR研究会案内**

〔第336回 新宿OR研究会〕

日 時：2014年3月18日(火) 12:00～14:00

場 所：東天紅会議室 (新宿センタービル53F)

講 師：瀬々 潤氏 (東京工業大学大学院情報理工学
 研究科准教授)

テーマ：「生命情報解析で活躍する機械学習」

参加費：3,000円 (事前にメールにてお申し込みください。)

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● **他学協会協賛案内**

他学会などが主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、原則として主催学会の会員と同じ費用で参加できますので、皆様奮ってご参加ください。

● **プロジェクトマネジメント学会2014年度春季研究発表大会**

日 程：2014年3月13日(木)、14日(金)

場 所：東洋大学白山キャンパス

主 催：プロジェクトマネジメント学会

URL: <http://spm-hq.jp/event/detail.php?id=74>

● **平成26年 電気学会 電子・情報・システム部門 大会**

日 程：2014年9月3日(水)～6日(土)

場 所：島根大学松江キャンパス

主 催：一般社団法人 電気学会 電子・情報・システム部門

URL: <http://www2.iee.or.jp/eiss>

2014年度第1回ORセミナー 『DEAチュートリアル』

開催趣旨: DEAの代表的な分析手法について基礎から学びたい、分析用途に合わせたモデルや応用例が知りたい受講者、特に学生・初学者を対象とする。

日時: 2014年4月19日(土) 13:00~17:00

会場: (株)構造計画研究所 本所新館 (地下1階レクチャールーム)
〒164-0011 中野区中央4-5-3 Tel. 03 (5342) 1065
東京メトロ丸の内線「新中野」駅1, 2番出口 徒歩約1分
<http://www.kke.co.jp/corporate/map/tokyo2.html>

コーディネーター: (株)構造計画研究所 齊藤 努

司会: 順天堂大学 広津信義

協賛学会 (交渉予定): 情報処理学会, 経営情報学会, 電子情報通信学会, 日本経営工学会

定員: 60名 定員になり次第締め切らせていただきます。

プログラム: (敬称略)

13:00~13:05 開会挨拶

13:05~14:20 講演1「DEA入門」

講師: OR学会フェロー 上田 徹

概要: CCRやBCCなど基本的なモデルを紹介する。なお、セミナー受講者はノートPCを持参し、PCの基本操作とExcelの使用経験があることを前提としている。

14:25~14:30 休憩

14:30~15:15 講演2「DEAの医療分野での応用例」

講師: 東京大学 葉原雄樹

概要: DEAを用いた効率性分析は、様々な分野・業種に应用されている。ここでは、医療分野に焦点をあて、この分野においてDEAが盛んに活用されている状況を紹介します。また、具体的な適用事例として、訪問看護事業所を対象とする効率性分析について説明を行う。

15:15~15:20 休憩

15:20~16:05 講演3「DEAモデルからの発展—ブラックBOXからネットワークモデリングへ—」

講師: 電力中央研究所 筒井美樹

概要: 基本となるDEAモデルでは、効率性計測の対象(DMU)の内部構造は明確にされておらず、「ブラックボックスモデル」と呼ばれている。これに対し、実社会においては、DMU内部に複数の機能(部門)が存在し、それぞれ異なる生産活動を行っていることが多い。これらをモデルに組み込んだ「ネットワークモデル」について紹介を行う。

16:05~16:10 休憩

16:10~16:55 講演4「DEAモデルからの発展—不確かさの導入—」

講師: 大阪大学 森田 浩

概要: データによる解析では、データのもつ不確かさをどう扱うのかというのが常に問題となる。DEAにおける不確かさについて考え、確率的計画法によるモデル化について紹介する。

参加費 (テキスト代込み): 正・賛助会員 (協賛学会員を含む) 5,000円, 学生 (会員/非会員) 0円, 非会員 10,000円
たくさんの方に参加していただけるように参加費を下げております。是非、ご参加ください。

申込方法: 日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

お名前, ご所属先, 正会員/学生会員/賛助会員/協賛学会員/非会員, お支払予定日を記入してメールにてお申込みください。会社宛請求書が必要な場合, その旨お書きください。

注意事項: 事前に当日の電子ファイル資料の一部を配布します。送付容量は約2MBありますので, 受信可能なメールアドレスをお知らせくださるとともに当日はそれをインストールしたパソコンをお持ちください。不可能な方はその旨お知らせください。

申込締切: 2014年4月11日(金)

お振込先: みずほ銀行: 根津支店 (店番号235) 普通 1530801

口座名: 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

*詳しくは, OR学会WEB <http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html> をご参照ください。

その他: 春季OR学会では, Jamal Ouenniche氏 (University of Edinburgh) によるチュートリアル講演でDEAの先進的な活用が紹介されます。ORセミナーと春季OR学会のチュートリアルともにご参加して頂ければ, DEAの基礎から先進的な応用までを知ることができます。

2014年度年会費納入のお願い

2014年度年会費の請求書を11月に発送いたしました。納入期限は2013年12月末までとなっておりますので、お早めにご入金くださいますようお願いいたします。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名+個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

なお、2013年度・2014年度は、「学生会員年会費無料化キャンペーン」中につき、学生会員の方には、請求をいたしません。

*預金口座自動振替の方（正会員のみ）は2014年1月20日に引き落とし済みです（新規の受付はしていません。）

*OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

学生会員年会費無料化キャンペーン

① 2013年度・2014年度の学生会員年会費5,000円は無料といたします。新入会の方は、WEBより入会申し込みの手続きをし、入会金600円のみを振り込んでください。

② 2013年度年会費をすでに払込の学生会員の方には、ご指定の口座に返金いたします。

③ ①②とも正会員である指導教員様より「学生会員年会費無料化キャンペーンに応募」する旨のメールを、「教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属先、メールアドレス」を明記して、学会事務局までお送りください。

④ 当該学生が卒業、就職などにて2013年度末（2014年2月末日）退会の場合は、お手数ですが、指導教員様より事務局にご連絡ください。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

学会事務局までお問合せください。

年会費専用振込み口座

年会費（不課税）：正会員 14,400円、
学生会員 5,000円、
シニア会員 7,200円
口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
ゆうちょ銀行：東京00190-6-79492
みずほ銀行：根津支店（店番号235）普通1124744
*手数料は払込人負担をお願いいたします。
*会員番号とお名前は必ずお書きください。

メーリングリスト登録のご案内

OR学会ではメーリングリストを開設し、本学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナーなどの催しに関する広報機能としてご利用いただいています。

新規にOR学会のご入会の方、未登録の方は、ご登録くださいますようご案内申し上げます。

アドレス変更の場合、各自で旧アドレスは脱退、新メールアドレスで参加登録の手続きをしてください。

詳しくは、学会WEBのメーリングリスト利用の手引きをご覧ください。

<http://www.orsj.or.jp/members/mlhowto.html>

OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5
サン・チカビル7F
TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055
*各種お届けは、メールにてご連絡ください。
(住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先／学生会員→正会員への変更／退会届)
会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。

● 新入会員 (2014年1月理事会承認分)

—正会員—

小林 秀 有限責任監査法人トーマツ
 田中研太郎 東京工業大学
 吉田 琢史 (株)東芝 研究開発センター
 神藤 猛 千葉大学
 関崎 真也 広島大学〔中四国支部〕
 喜多奈々緒 慶応義塾大学
 長谷川治久 NTT(株)

—学生会員—

白髪 丈晴 九州大学〔九州支部〕
 二宮 翔平 南山大学〔中部支部〕
 金 蕙園 大阪大学〔関西支部〕
 小笠原 悠 弘前大学〔東北支部〕
 徳永 正和 九州工業大学〔九州支部〕
 塩見 亮 鳥取大学大学院〔中四国支部〕
 愛澤 優 九州工業大学〔九州支部〕
 桑幡 隆行 九州工業大学情報工学部大学院
 〔九州支部〕
 ヘルディアンティ ダルウィス
 九州工業大学〔九州支部〕
 大槻 兼資 東京大学
 関川 圭太 大阪府立大学〔関西支部〕
 加藤 勇輝 南山大学〔中部支部〕
 小林 亮太 南山大学大学院〔中部支部〕
 今村 允省 大阪大学〔関西支部〕
 鈴木 まみ 南山大学〔中部支部〕
 安西 将貴 南山大学〔中部支部〕
 田頭 弘光 東京海洋大学
 小川 智也 山口大学大学院〔中四国支部〕

時高 理嗣 山口大学大学院〔中四国支部〕
 櫻井 洋之 東京工業大学大学院
 野田 亮輔 東京工業大学
 堤坂 泰歩 東京海洋大学
 伊藤 真理 南山大学〔中部支部〕
 加藤 弘也 南山大学大学院〔中部支部〕
 カク レイ 東京海洋大学
 加藤 良祐 山梨大学院〔中部支部〕
 三明 亮介 東京海洋大学大学院
 佐藤 嶺 工学院大学大学院
 森口 元気 南山大学大学院〔中部支部〕
 高田 瞭 東京海洋大学
 斉藤 秀翔 工学院大学大学院
 邵 一夫 東京海洋大学
 今村 謙三 東京工業大学
 シム グラ 大阪大学〔関西支部〕
 熊野 徹 大阪大学大学院〔関西支部〕
 高屋 定尚 大阪大学〔関西支部〕
 濱田 直樹 大阪大学〔関西支部〕
 王 森 大阪大学〔関西支部〕
 小松 史人 大阪大学〔関西支部〕
 滝本 直也 大阪大学〔関西支部〕
 矢達 高大 大阪大学〔関西支部〕
 福富 太郎 大阪大学〔関西支部〕
 都築 啓 名古屋大学〔中部支部〕
 三木 和貴 筑波大学大学院
 呉 偉 名古屋大学〔中部支部〕
 細井 啓太 東京海洋大学大学院
 若林 建吾 サレジオ工業高等専門学校

* 支部表記のない方は本部所属です。